

令和7年度 認定一級解剖技術者試験（解剖）

1. 大腿三角について次の問いに答えなさい

（1）大腿三角を構成する構造について適切なものを選択肢から選びなさい

底辺（上縁） _____ 外側縁 _____ 内側縁 _____

（選択肢） A 崙径靭帯 B 大腿直筋 C 外側広筋 D 内側広筋 E 中間広筋
F 縫工筋 G 短内転筋 H 長内転筋 I 大内転筋

（2）大腿三角内で触知できる血管はどれか _____

A 総腸骨動脈 B 外腸骨動脈 C 内腸骨動脈 D 大腿動脈
E 閉鎖動脈 F 上殿動脈 G 下殿動脈

正解 （1）底辺（上縁） A 外側縁 F 内側縁 H （2）D

2. ヒトの骨格で椎骨の数として正しいのはどれか _____

A 頸椎5, 胸椎12, 腰椎7
B 頸椎7, 胸椎10, 腰椎5
C 頸椎7, 胸椎12, 腰椎5
D 頸椎8, 胸椎10, 腰椎4
E 頸椎8, 胸椎12, 腰椎5

正解 C

3. 肘を屈曲した状態で回外運動を行った。手掌（手のひら）の向きはどれか _____

A 上方を向く
B 外側を向く
C 内側を向く
D 下方を向く

正解 A（肩関節90° 外転位で肘屈曲・回外運動ではC）

4. 腹膜後器官はどれか。2つ選べ _____ _____

A 胃 B 十二指腸 C 空腸 D 回腸 E 横行結腸 F 肝臓 G 膵臓

正解 B、G

5. 感染予防として不適切なのはどれか _____

A 二重手袋の着用
B 防護眼鏡の装着
C 汚染面の環境清拭
D 体液は全て感染性とみなす
E 使用済み注射針のリキャップ

正解 E

6. 市販の一級や局方ホルマリン液について次の問いに答えなさい

（1）遺体の主要な固定成分はどれか _____

A メタノール B キシレン C ギ酸（蟻酸）
D グルタルアルデヒド E ホルムアルデヒド

正解 E

（2）固定成分の安定化のために通常添加されているのはどれか _____

A メタノール B キシレン C ギ酸（蟻酸）
D グルタルアルデヒド E ホルムアルデヒド

正解 A

7. 死体解剖保存法の目的に含まれないのはどれか _____

- A 適正な死体の解剖と保存
- B 適正な死因調査
- C 公衆衛生の向上
- D 医学または歯学の教育・研究に資すること
- E 献体者の意思の尊重

正解 E

令和5年度 認定一級解剖技術者試験（解剖）

1. 肉眼解剖学実習を行う上で、以下の解剖手技に用いる適切な解剖器具について正しいものを3つ選びなさい。

- | | | |
|------------|---|------|
| 1 大腿骨の切断 | — | 骨鉗子 |
| 2 鎖骨中央部の切断 | — | はさみ |
| 3 脊椎椎弓板の切除 | — | 双鋸 |
| 4 肋骨の切断 | — | 肋骨剪刀 |
| 5 耳管の観察 | — | ゾンデ |

正解 3, 4, 5

2. 解剖業務における感染を防ぐために必要な个人防护具を全て選びなさい。

- 1 マスク
- 2 ゴーグル
- 3 ガウン
- 4 手袋
- 5 長靴

正解 1, 2, 3, 4, 5

3. 解剖体の各種保存法について正しいものを2つ選びなさい。

- 1 Thiel法、SSS法、通常ホルマリン固定法の中で、最終ホルマリン濃度が最も低いのはThiel法である。
- 2 通常ホルマリン固定法では、関節可動域が狭いなど手術トレーニングが行いづらいため、Thiel固定法などがあらたに開発された。
- 3 Thiel固定法では、手術手技研修を行うまで遺体を室温保存することが一切できない。
- 4 SSS法では、臓器の色が大きく変化しないため、手術手技研修に適している。
- 5 すべての固定法において、固定後は感染症の心配は全くない。

正解 2, 4

4. 右大腿動脈に流入する血液が通過する動脈はどれか。3つ選びなさい。

- 1 腕頭動脈
- 2 腹大動脈
- 3 大動脈弓
- 4 総腸骨動脈
- 5 腎動脈

正解 2, 3, 4

令和4年度 認定一級解剖技術者試験（解剖）

名前： _____

点数 _____

1. 右総頸動脈に流入する血液が通過する動脈はどれか。正しい組み合わせをA～Eの中から選びなさい。

- 1 胸大動脈
- 2 腕頭動脈
- 3 大動脈弓
- 4 鎖骨下動脈
- 5 上行大動脈

A 1 2 3, B 2 3 5, C 2 4 5, D 2 3 4, E 3 4 5

正解 B

2. 正しい組み合わせをA～Eの中から選びなさい。

- 1 右肺は2葉、左肺は3葉に分かれる。
- 2 気管は食道の前面に位置する。
- 3 気管支は心臓の後面に位置する。
- 4 左主気管支の分岐角は右主気管支の分岐角より大きい。
- 5 横隔膜は左側が右側より高い。

A 1 2 3, B 1 2 5, C 1 3 4, D 2 3 4, E 3 4 5

正解 D

回答 _____

3. 門脈にそそぐ静脈として正しい組合せをA～Eの中から選びなさい。

- 1 上腸間膜静脈
- 2 腎静脈
- 3 左胃静脈
- 4 脾静脈
- 5 総腸骨静脈

A 1 2 3, B 1 2 5, C 1 3 4, D 2 3 4, E 3 4 5

正解 C

回答 _____

4. 腹膜後器官はどれか。

A 胃 B 肝臓 C 十二指腸 D 空腸 E S状結腸

正解 C

回答 _____

令和2年度 認定一級解剖技術者試験（解剖）

名前： _____

点数 _____

1. 死体解剖保存法について正しいのはどれか。

- A 解剖によって得た標本は遺族の承諾の上で保存することが出来る。
- B 死体もしくは妊娠6ヶ月以上の死胎に関しての保存と解剖について規定している。
- C 解剖は解剖室において施行しなければならず、それ以外は警察署長の許可を必要とする。
- D 死体を解剖するものは本人の承諾のみでよく、遺族の承諾は必要としない。
- E A～Dすべて誤り。

回答 _____

正解 A (B 6ヶ月→4ヶ月、C 警察署長→保健所長、D 死体を解剖するものは遺族の承諾を必要とする)

2. 正しい組み合わせをA～Eの中から選びなさい。

- 1 右肺は3葉、左肺は2葉に分かれる。
- 2 気管は食道の前面に位置する。
- 3 気管支は心臓の前面に位置する。
- 4 右主気管支の分岐角は左主気管支の分岐角より大きい。
- 5 横隔膜は右側が左側より高い。

A 1 2 3, B 1 2 5, C 1 3 4, D 2 3 4, E 3 4 5

回答 _____

正解 B

3. 門脈にそそぐ静脈として正しい組合せをA～Eの中から選びなさい。

- 1 上腸間膜静脈 2 腎静脈 3 左胃静脈 4 脾静脈 5 総腸骨静脈

A 1 2 3, B 1 2 5, C 1 3 4, D 2 3 4, E 3 4 5

回答 _____

正解 C

4. 腹膜後器官はどれか。

A 胃 B 肝臓 C 十二指腸 D 空腸 E S状結腸

回答 _____

正解 C